

## 参加者募集&報告!

メンバーの「やりたい!」が次々とカタチに! たくさんの市民の方に活動を知ってもらおうきっかけづくりをしていきます。

### 都市緑化あいちフェア (サテライト会場内)

日時 9月20日(日) 15:00~20:00

場所 福祉の家北側入口付近

内容 なでラボの焚き火場(BAR)

火を囲んで楽しくおしゃべりしましょう!

### 第6回ラボトーク@西小校区共生ステーション

日時 9月24日(木) 19:30~21:30

内容 「ももクロ(ももいろクローバーZ)」

費用 100円

申込 不要 どなたでもお気軽にお越しください



### 第5回ラボトーク @西小校区共生ステーション (8/7)

内容:「もやもやを哲学する」 進行役:稲垣道生 参加者:17名

一人ひとりの隠れたワザを社会の中で輝かせる「ラボ——ク」。

今回は、ふだんの暮らしで誰もが感じたことのある「もやもや」の正体について

進行役お得意の「哲学」という切り口から、参加者みんなで考えました。

### だれでもアーティスト!? 紙コップ de アート @中央図書館 (8/23)

紙コップを積んだり、並べたり、崩したり……シンプルだけど、子どもも大人も夢中になって楽しめました!

これからも、誰もが身近な施設で、自然と交流が生まれるきっかけをつくっていききたいです。参加者 99名。



### 茶和話×なでラボ Night (8/22)

@木土のカフェ&キッチンサロン茶和話

「なでラボ」がカフェ「茶和話」とコラボして、ワンデイ居酒屋(?)を開店し、調理からホール、ドリンクサービスまで、すべてメンバーで行いました! おいしいごはんにお酒があると、不思議と知らない人同士でも会話がはずみました。これから続けていく予定です! 参加者 19名。



Next!  
9/26(sat)

### 第6回なでラボ DAY

日時 2015年9月16日(水)

19:00~21:30

会場 西小校区共生ステーション

内容 なでラボの運営について話し合う

なでラボのあれこれを  
Facebookにて  
発信中!!



## 2015年8月19日(水)

19:00~21:45 参加者26名

### 西小校区共生ステーション

なでラボとは、「な」がくて「で」きたて「ラボ」ラトリ—の略。20代から40代の長久手市市民と市職員が一緒になって取り組む、市民協働プロジェクトチームです。毎月第3水曜日に、チーム内の情報共有、意見交換、学び等の場として「なでラボ DAY」を開催します。今回は、市長になでラボに期待することを伺った後、それを踏まえて、なでラボがこれからどう活動していくのかについて話し合いました。

## プログラム

- 19:00 開会
- 19:05 市長のお話
- 20:00 ブレイクタイム
- 20:15 ワーク  
~なでラボの今後の活動について~
- 21:00 共有
- 21:15 都市緑化フェアなどイベントのお知らせ
- 21:40 おわりに

## 市長のお話 ～なでラボに期待すること～

市長に「なでラボに期待すること」を、率直にお話いただきました。



### 住みよさを実感していない市民

このまちは、住みよさランキングで2位となったが、まちの人たちはその実感がない。実感がないというのは、まちづくりに自分が参加していない、汗もかいていないからである。しかし、このまちは、市民による区画整理事業によってつくられた。市民にはその力がある。

### あえてわずらわしいことをやる

これから自分たちでまちをつくらないといけない時代がくる。だから、今からまちについてみんなに考えてもらいたい。なでラボには、どうやったら市民がまちづくりに参加してもらえるか、どうしたらバラバラな意見をまとめられるか、現場に入って市民を巻き込んで取り組んでほしい。あえてわずらわしいこと、難しいことにチャレンジしてほしい。このまちは課題の先進地。そこに手を突っ込む勇気が必要である。こうすることで、時間がかかるけれど、みんながまちづくりに参加する土壌ができあがる。

### あたらしい価値感をつくる

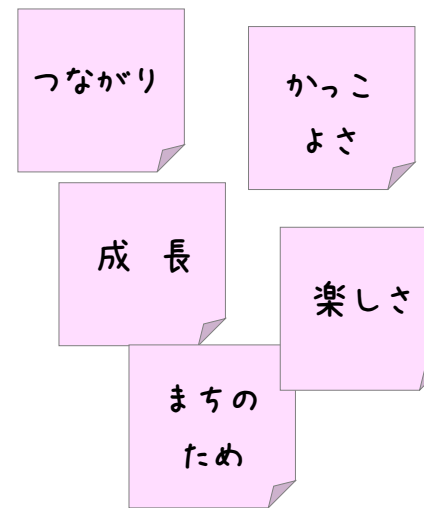
まちの計画づくりを、市民に取り組んでほしい。失敗も遠回りもあるけれど、その積み重ねで物語ができる。達成感もある。今までの仕組みを見直して、新しい価値観をつくってほしい。みんながまちづくりに参加する土壌づくりは時間がかかる。発酵と同じである。なでラボのみなさんが“菌”となって、地域を発酵させてほしい。



## ブレイクタイム

今日のブレイクタイムは「喪失体験ゲーム なでラボ ver.」。

メンバーがなでラボの活動で大切にしていること「つながり」、「成長」、「楽しさ」、「まちのため」、「かっこよさ」の5つを1枚の付箋に1つずつ書きました。そしてジャンケンで勝った人以外は大切なものを残して1枚ずつ付箋を破っていきます。どの付箋を破るかで悩むメンバーの姿があらこちらに。そして最後の1枚になったらゲーム終了。



どの付箋を最後に残したのかでグループをつくってみると、「楽しさ」や「つながり」を選ぶ人が多く、「成長」や「まちのため」は少数派意見。「かっこよさ」は一人もいない結果に。大切にしていることは、人それぞれでも、どれもなでラボの活動を続けていくモチベーションにもつながる大切なこと。これからもメンバーそれぞれが大切にしていることを叶えられるなでラボでありたいですね！

## ワーク ～なでラボの今後の活動～

市長のお話を聞いて、メンバーが感じたことを共有しながら、これから、なでラボがどう活動していくのかを話し合いました。

### グループ①

市長が「市の主要な計画まで決めてもらいたい。」とおっしゃっていたが、そこまで求められるのは飛躍していると思った。今は、市民がもっとまちのことを考えてくれる土壌づくりのために、いろんなイベントをやっている。ただ、イベントが乱立している。情報の管理、共有がうまくできておらず、もったいない。情報として広げるよりも、他のまちづくりをしている団体と繋がって、相互に関係し合うことも大切だと思う。

また、なでラボでイベントをする際に、主体的に参加してくれている人と、興味は持っているが参加はしてくれないという人がいる。興味を持っている層も誘い込みたい。チームで好きなことをやっているのでは、わずらわしさから離れていくので、他から引き込むとか、全体で集まる場を設け、わずらわしさのあることをしていくことで、もう一步踏み込んで考えることが出来ると思う。



### グループ②

なでラボが楽しいと感じているが、楽しいで終わってしまっている。楽しさを他の人とシェアできていないし、他の人を巻き込むことができず、身内だけで終わってしまっているのがもったいない。どう広げていったらいいのか。こうして楽しいイベントがあるのだから、これを続けていくことによって、繋がっていくことがあるのではないかなと思う。

なでラボが何に向かっているのかわからない。わからないっていうことも個性ではあるが、話し合いの度に、「なでラボって何をやってる団体なの？ゴールって何？」という議論になる。



### グループ③

来年以降も「なでラボを存続させたい」と思うと、存続させるためにどうするかを考えなければいけない。なでラボは、みんなの中で居場所になりつつある。これからもリアルで話し合う場所は必要である。いまの私たちは、つながりを求めている、市長が考える「自分ごと市民」を増やしていこうという考えとは違う。居場所を存続させるにあたっての中間目標を共有したほうがいい。

繋がっていくために、まちのことを考える子どもを増やすために、子ども向けのワークショップをしたい。なでラボができないことは、つながりを作ってみんなにお願いしていく。市民がひとり立ちする必要もないのではないかなと思う。なでラボの行政と市民が一緒になっている特徴を生かして役割分担していくことも大事。市長が、もめろという話をしていたが、真剣に話し合うということも続けて、この場所を存続していきたい。

